

# 令和元年度ホタテガイ採苗情報（臨時号）

令和元年 8月 6日



発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
関係漁業協同組合

稚貝の数量を十分確保するために、採苗器内の大型稚貝の数を確認しましょう。

## 〈調査結果の概要〉

- 宮古地区から綾里地区までのホタテガイ稚貝の付着数は約700～4,000個/袋でした。
- 各地区の殻長サイズ別付着数は、図1、表1のとおりです。
- 宮古地区では、殻長3～5mmが主体の所もありますが、分散時に必要なサイズ及び数量は確保できると思われます。
- 県南部の地区では殻長2～4mmが主体の地区が多く見られますので、今後の稚貝の成長に留意しつつ分散作業を行ってください。
- 外敵生物のコツブムシが、採苗器1袋あたりに5～20個体確認されている場合がありますので、注意してください。

表1 各調査地点の付着稚貝数

調査地点名	※宮古潮吹	※宮古磯鶏	※宮古白浜	唐丹定点	唐丹本郷	唐丹花露辺	吉浜	綾里	
採苗器投入日	4月26日	5月6日	5月11日	5月27日	5月28日	5月28日	5月14日	5月25日	
調査日	7月17日	7月18日	7月18日	7月29日	7月22日	7月22日	7月19日	7月26日	
殻長別付着 個数(個/ 袋)	8mm以上	0	45	0	65	0	0	1	1
	6～8mm	878	1579	1,640	166	0	0	44	17
	4～6mm	943	1090	2,084	307	495	861	146	230
	2～4mm	235	237	293	162	710	1010	640	716
計	2,056	2,951	4,017	700	1,205	1,871	831	964	

※宮古地区については、2～4mmは1～3mm、4～6mmは3～5mm、6～8mmは5～8mm

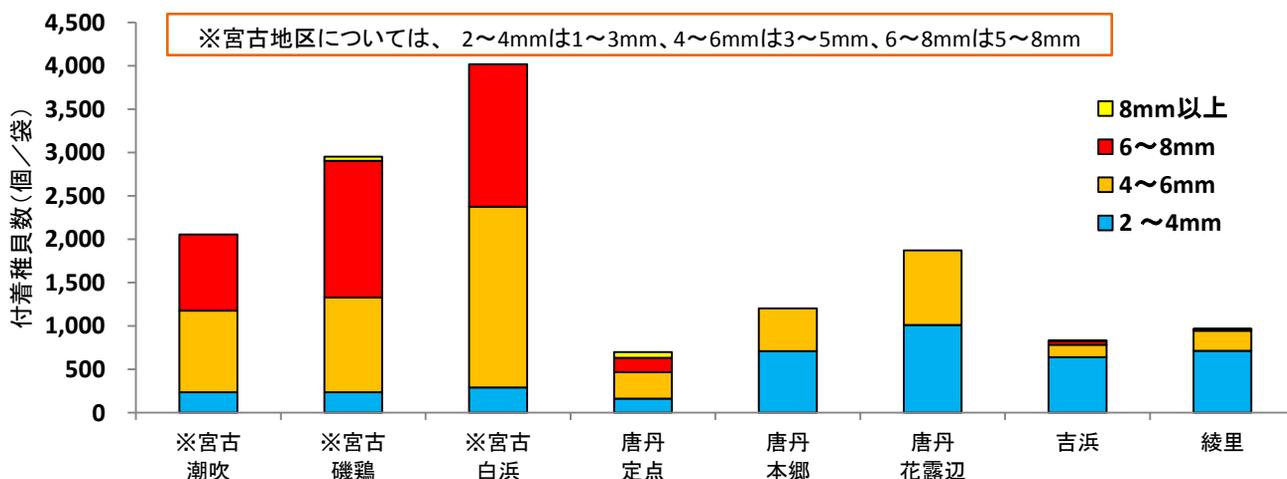


図1 各調査地点の稚貝サイズ別付着稚貝数

## 稚貝の採取・分散の注意点

- 採取する稚貝の大きさは殻長9mm以上とし、早めの採取・分散を心掛けましょう。
- 変形貝を防ぐため玉ねぎ袋の底にたまった稚貝は使わないようにしましょう。
- 採取・分散にあたっては、雨の日や雨後を避け、水温(25℃以上の場合実施しない)および気温の動向を確認しながら、丁寧かつ速やかに作業を進めてください。
- 分散作業で使用するポンプアップした海水は、工事等による濁り等の影響がないことを確かめながら使用してください。

※8月6日付発行の「養殖ホタテガイ高水温情報」も併せてご活用下さい。